

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 浜野 第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
日々の支援を行うための人数体制について基本的には確保されていると思う。送迎時に添乗者欠員が出ていることは多い印象。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動の流れを明確にし、毎日のリズムを崩さず定着できるような支援を行っている。</li> <li>・職員の勤務時間の関係で、添乗に欠員が出てしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れもだいぶ定着しつつあるので、児童も職員も活動、支援しやすい環境に整ってきているように感じます。</li> <li>今後も環境調整を行いながら、より良い支援を務めていきます。</li> </ul>
児童の全ての希望に応えられるわけはありませんが、対応できる内容について時間が取れる時は自由時間や学習時間に取り組むようにしています。	個々の主張がはっきりしているので、「できる時間」「できない時間」を明確に提示することで、児童も納得することが多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、プログラムのリクエストを取ることも次年度は取り入れていきたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画に沿って、研修が実施されている</li> <li>・災害時に備えた避難訓練が実施されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は毎月1回、集団療育プログラムにおいて実施しており、災害に備えて定期的に行っています。</li> <li>・けが対応フローチャートに基づき、どの職員であってもすぐに報告・連絡・相談が行える体制を整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点で使用しているマニュアル等を周知し、安全面の向上に繋げていきます。</li> </ul>

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側のガラスにカーテン等を設置してほしい。日が差し込むと眩しく、暑さで子供が落ち着かなくなる。</li> <li>・年齢が幅広いため、高学年が簡単なものであったり、未就学児が難しく話についていけないこともあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西陽が教室に入ると、まぶしかったり、お子様によっては暑さを感じる方もいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテンの設置やマットで遮るようにして対応してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者やご家族が教室の様子を見学できる参観日を実施ができていない。</li> <li>・児童の様子を見ていただくのにはいい機会だとは思いますが壁に穴が開いたりしているため不安に感じさせてしまう可能性もあると思う してみたいですが、環境があまり良くない（壁に多数の穴が開いている）ので不安になる保護者も惟るかもしれません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までにも支援中の見学を保護者様に実施したことがありますが、大人数での見学や参観日となると、お子様が興奮したり、逆に緊張をして普段通りの様子を見ていただけなる恐れがある。</li> <li>・参観日の案内や保護者対応に人員を割きすぎると、安全面や直接的な支援が手薄となってしまう。</li> <li>・保護者様が車で来訪された場合の駐車場が複数台数分確保できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の日を「参観日」と決めるのではなく、今週のこの時間であれば例えば2組見学いただけますという枠をいくつか作り、個別に申し込みができるようにするなど考えていきます。</li> <li>・実際の支援を見学いただくだけでなく、「家族会」のような場を設けることも検討してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動と机上活動の場所を分けたい。個別支援の場合は、個別の空間が確保される方が良い。</li> <li>職員研修は、PCでの学習が有効だと思うが、勤務時間内では取り組むことが困難である。</li> </ul>	運動活動と机上活動の場所が一緒なので、児童が集中できない時がある。	支援室が1つしかないため、パーテーションを使用して個の空間確保に努めてまいります。